

「情報化社会とコミュニケーション」

顧問 福田 志津枝



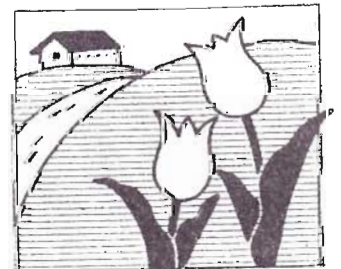
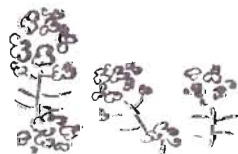
今年もあちこちから沢山の年賀状が届きました。そこに書き添えられた一言、一言に書き手のぬくもりが伝わってきて、多くの友人をもったことを幸せに思いました。

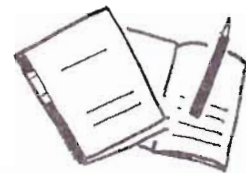
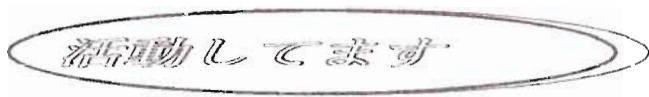
いまは情報化がすすみ、インターネットを通して、家にいながらさまざまな情報を得ることが出来るようになりました。手紙を書かなくても、Eメールで早く、正確に用件を伝えることが出来るようになりました。現在、国内のインターネットの利用者は、一千万人を越え、なお増加の一途をたどっています。こうした技術革新は、私たちに便利さと快適さを与えてくれました。しかしそこには、違法性の高い闇の部分も混在しています。

昨年インターネットを通して、毒物が宅配されるといった事件が起こりました。また最近、若者達が高額のアルバイト料が入るからという手軽な儲け話しに乗り、多額の金銭を騙し取られる事件もありました。何千人もの若者が騙されたのは若者たち特有のネットワークや友人関係が背景にあるようです。彼らは携帯電話の番号を手軽に誰かれとなく交換しています。いろんな人から電話が掛かった方が楽しいからだと言うのです。こうしたネットワークが大量の被害者を生む背景にありました。

今年の成人式で、講師の話の最中も携帯電話で話しをしている若者の姿がテレビに移し出されてきました。他人へ配慮をしない若者に腹立たしさを感じました。しかしこのようになったのは若者だけの責任とは言えないように思えます。子どもの頃から親子間のコミュニケーションが少なく、異年齢世代との交流もさほどないまま育ったことがそうさせたと言えましょう。講義の最中も後ろの席でおしゃべりしている学生も少なくありません。いまの若者たちは心が通いあう会話に飢えているように思えます。

他人を思いやる気持ちを持たせるには、これから社会を担っていくこうした若者たちに夢と希望を持たせ、本当の豊かさとはなにかを伝えていくことが私たちの役割だと思います。地域のリーダーとしての皆様方のますますの御健闘を祈っています。





地域のあちらこちらで、
会員の方々が、活躍しています。

「男女共同参画社会支援セミナーに参加して」

河津 百合

私は「男女共同参画社会支援セミナー」に助手として参加しました。その報告をします。

県は男女共同参画社会の実現をめざし、女性の地位が向上し、審議会などにおいて政策決定に参画できる女性人材の養成を目的とする、「愛知県男女共同参画社会支援セミナー」を実施しました。平成8年よりはじまり今年で3年目になります。

渥美町・小原村など県下全域から、32名の研究員が集まり名古屋市からは1名、知多地域から3名の研究員が熱心に研修を受けています。指導者に日置雅子先生、助手3名、女性総合センター職員により運営されます。

全部で15講座のセミナーは「女性行政」「女性学」「法律」「女性労働」「税金」「環境」「政治」「経済」「福祉」……など多岐にわたり女性問題をとり上げています。

専門の講師よりの講義の後、グループ分けした研究員が、グループディスカッションを行います。最終日に個人レポート発表がなされ、セミナーは終わります。

長らく男性が支配してきた社会体制を、女性も男性と対等に社会を担い参画するためには、女性の真の実力がが必要です。女性が力をつけ行動をおこすことで変化は少しずつでも、しだいに大きなうねりになると確信します。

社会をもっと広く深く知ることが第一歩と、そんな思いをセミナーから得ることができました。

映画「ユキエ」と講演会の報告

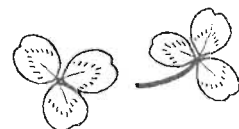


長坂 直子



レディース半田・女と男のフォーラム第8回は、映画「ユキエ」と松井久子監督の講演を11月21日に開催いたしました。当日はとても盛況でした。当日配布したアンケートの感想も総じて激励と感謝の言葉をいただき、次回への要請や我が地域でも開催したいという文もあり、実行委員のメンバーとして大きな喜びでした。

好評の第一の要素は、映画の素晴らしさにあると思います。アルツハイマーに侵されていくユキエと夫の夫婦愛をゆっくりとあっさりとするくないセリフで、丁寧な映像を活かして私たちのところに感動を与えてくれました。



次に、松井監督のお話は映画制作にまつわるエピソード、私たちの全く知らない世界をかいま見させてくれました。日本の映画監督の世界は男性社会であり、今回はアメリカだから完成できたのではとおっしゃる監督の言葉や、映画作りに必要な経済的基盤の困難をどのように乗り越えたかなど、その勇気は私たちに大きな刺激を与えてくれました。

監督の今も続くユキエという作品を売り込むエネルギーには頭の下がる思いでした。今回、企画の段階で監督は手弁当で講演に出かけてくださるというお話でした。しかし私たち実行委員会では初めてフォーラム参加券を300円で買って頂くことにしましたので、そのようなこともなく監督の次回の映画製作費用に対して少しの貢献が出来たと喜んでいきます。

最後に、映画という娯楽性のある選択はいつものフォーラムより観客をたくさん集めることが出来ました。そしてそれはたくさんのテーマをそれぞれの人の心に植え付けたのではないのでしょうか。皆が楽しみながら色々なことに気付き、考える機会を持てたことを成功と喜んでいきます。みちの会の皆様も参加して下さってありがとうございました。

“女性団体企画リーダー研修”を受講して

渡辺 順子



ウィルあいち

Seminar

Will Aichi Seminar

別表の日程で研修を受講する機会を得ました。

毎回テーマに沿って学習を進行しましたが、受講生の皆様は寒い時期にもかかわらず大変意欲的でした。

私はどのテーマも外周程度の認識しか持たない自身を再確認する事になり、これはいけないと緊張し、無欠席で受講しました。

女性団体 企画リーダー 研修

男女共同参画の促進や女性問題に対する意識啓発などを目的とする女性団体及び女性センター等で中心となって事業を企画する立場にある人を対象とした研修です。

対象 ウィルあいちの女性団体登録をした団体、女性センター及び愛知県内を中心にさまざまな活動を行っているグループで企画を担当している人
期日 平成11年1月19日(火)～2月23日(火) 毎週火曜日 計6回
時間 午前10時～正午(2/2、2/16は、午前10時～午後4時)
定員 30人
受講料 無料

テーマ	講師
① 1/19(火) 男女共同参画社会の現状	日本福祉大学助教授 …………… 後藤 澄江
② 1/26(火) 企画の立て方①	インフォメーション・プランニング代表 …… 結城 美恵子
③ 2/ 2(火) 企画の立て方② グループワーク	
④ 2/ 9(火) 企画リーダーの資質①～自信を持って話すコツ～	JALアカデミー …………… 大島 純子
⑤ 2/16(火) 企画リーダーの資質②～PRのマジック グループワーク～	(株)電通パブリックリレーションズ名古屋 ディレクション部 部長 …………… 伊原 正俊
⑥ 2/23(火) 事例発表	

(講師敬称略)

実践版！男女共同参画社会

……まちづくりを通して……



川平 美代子

昨年12月6日(日)に「布土発見 あるもの探しをしよう」という地域フォーラムを開催しました。これは町役場環境保全課と共に取り組んだまちおこしの行事でした。突然このような行事がわいて起こったのではありません。実は平成6年度より布土まちづくり推進委員会というものを、男女15人で設立し、意見を出し合い土台を育ててきました。もともとは、このフォーラムは、我が町美浜町の町長の提案で、布土区長がそれを受けて始まったものです。

さて、このフォーラムは、全国里地ネットワークの指導も受けました。

海あり山あり、小さな田舎町を改めて見つめ直し、里地の持つ良さ(宝物)を再発見しようというものでした。

4年間の積み上げの中で発見したいろいろな物を町の多くの人々に聞いて頂く、見て頂くことにしました。



○水のゆくえマップ(生活と切り離せない水、布土を流れる水の源泉から河口までをたどり、生きものや水質、生活との関わり等を調べたもの) ○里山と植物 ○みがき砂とカワウ ○山芋掘りをして ○竹墨づくりをして ○きのこ狩りをして ○ドライブフラワー ○EMぼかしについて ○布土のまつりについて ○定年婦農者の実態

フォーラムから2ヶ月あまり立ちました。この行事を通して、まちに一つの動きが起きました。布土の里地で焼いてフォーラムで売った『竹墨』が注目されたのです。

「あれはどこで売っているの」と聞く人々が現れ、町役場でも、新たに炭焼きの講演会が開かれました。町の予算化の動きも出てきて、布土地区のみでなく、美浜町全域のまちおこしにつながる勢いになってきたのです。

男女を問わず、地域の住民が考えた事が、まちの政策に影響を与える。そんな実感を少し味わっています。

(あとかき)

20号をお届けします。

今年度はあえて実績書と異なる記事を書ける試みをしました。

フォーラム・見学研修会など欠席された方が、その内容や報告書をその都度すぐにお読みになりたかったかもしれませんが、又そのようなご意見が多ければ、11年度は変えたいと思いますので、どしどしご意見を下さい。

原稿依頼に対し、快くお引受けくださいました福田先生始めみなさまに、心から感謝します。どうも有り難うございました。

担当 Cグループ